

## 「黄金色の稲穂」展開例

1 主題名 社会のためにできること【内容事項4－（5）勤労、奉仕の精神】  
資料名 「黄金色の稲穂」

2 本 時

(1) ねらい 社会生活を支え、貢献することの意義を理解し、積極的に社会に役立つ活動に取り組むことから得られる喜びを基に、社会に奉仕し、公共のために役に立とうとする心構えを育てる。

(2) 実 際

過程	主な学習活動と予想される反応	時間	教師の働きかけ
気付く	<p>1 だれかのために行動することについて経験や心情について話し合い、考えたい問題に気付く。 「だれかのために行動できた時にはどんな気持ちになりますか。また、なぜできない時があるのでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ だれかのために役に立てて気持ちがよい。</li> <li>・ 『めんどろ』『きつい』と感じ、できない時がある。</li> </ul> <p>2 学習のめあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>だれかのために進んで行動するにはどんな気持ちが必要だろうか。</p> </div>	5	<p>○ 実態調査の結果などから、実際の生活の様子を振り返らせ、だれかのために進んで行動できた時の快い感情と、行動できない時のもやもやした気持ちを基に、意識と行動の矛盾から、問題意識を高めためあての設定ができるようにする。</p>
つなげる	<p>3 資料を読み、ゆきえが大切にしたい考えについて追求したい場面を焦点化する。</p>	15	<p>○ 中津野用水路建設については、物語のあらすじや場面設定などを、事前に紹介しておき、興味や理解を高めさせておく。</p>
深める	<p>4 ゆきえの行動から、ゆきえが大切にしたい考えについて追求する。</p> <p>(1) 協力してくれる人がいなくなり、たった一人で工事を続けるゆきえの気持ちについて話し合う。</p> <p>(2) 用水路が完成し、喜ぶゆきえの気持ちについて話し合う。</p> <p>「人々の喜ぶ姿を見てうれしい」 「人々のくらしが豊かになることが幸せ」</p>	17	<p>○ 対話活動をすることで、多様な見方・考え方・感じ方を発揮させたり、子どもたちの経験と関係付けたりさせながら、工事を続けるゆきえの心情に迫っていく。</p> <p>○ マグネットシートに記入させ、意見交流させる。◎分類・整理</p>
振り返る	<p>5 だれかのために進んで行動することに関する「大切にしたい気持ちや考え」と生活を結びつける。 「『だれかのために進んで行動できる』ためには、どんな考えや気持ちが必要だろうか？」</p> <p>6 これまでの自分を振り返り、これからの自分についてワークシートに書く。</p>	10	<p>○ だれかのために進んで行動できることの意義を心構えにつなぐ発問をする。</p> <p>○ 主人公の生き方や設定させた問題を基に、その意義の持つよさを子どもたちから出させる。</p> <p>○ 書く活動を取り入れ、これからの自分の生活で生かしていきたい気持ちや考えについて書くことで、学習したことの実践化が図れるようにする。</p>
しなげに	<p>7 社会に奉仕し、社会のために役立つことの意義について話を聞く。</p>	3	<p>○ 山田のかかしについて、制作者の思いを紹介する。</p>



- 積極的に社会に役立つ活動に取り組むことの大切さに気付かせるとともに、豊かな農地をつくってくださった先人たちに感謝の気持ちが持てるようすることが大切です。
- 今回の題材をもとに、自分にできる地域貢献はないか、考えを広められるようにしたいものです。

## 「黄金色の稲穂」板書・発問例

だれかのために進んで行動するには、  
どんな気持ちが必要だろうか。

### 「黄金色の稲穂」

一人で工事を続けるゆきえの気持ち

- ・ 人々の幸せのためにがんばる。
- ・ 工事が完成したらいい気持ちができる。
- ・ 用水路は完成できるのか。



完成した時のゆきえの気持ち

- ・ 用水路ができてうれしい。
- ・ 人々の喜ぶ姿を見てうれしい。
- ・ 人々のくらしが豊かになることが  
幸せ

だれかのために進んで行動できるためには…

人のために行動できると気持ちいいという  
考え（対自分）

自分が行動したことが、だれかのために役に  
立つという考え（対他者）

社会がよくなるという考え（対社会）

○ 実態調査の結果などから、「だれかのために行動すること」について考えさせる。

○ 学習課題を設定する。

○ 資料を教師が読み、「ゆきえの気持ち」に関わる場面に線を引かせる。

○ 線を引いたところを発表させながら、あらすじを確認する。

○ 協力してくれる人がいなくなり、たった一人で工事を続けるゆきえの気持ちについて考える。

※ 個人でワークシートに記入させる。

○ 用水路が完成し、喜びゆきえの気持ちを考える。

※ ペア（グループ）をつくり、意見を交流させる。

※ マグネットシートを活用し、ペア（グループ）の考えをまとめさせるようにする。

※ ペア（グループ）で話し合ったことやまとめた考えを発表させる。

○ 『だれかのために進んで行動できる』ためには、どんな気持ちや考えが大切か考える。

※ 資料から離れて、自分のこととして考えさせる。

○ 考えを発表させ、意見を交流させる。

○ 授業の感想を書かせる。

○ 教師の説話等を聞かせる。



パワーポイントを用いて、写真や地図等を映し出すことにより、興味や理解を高めさせることができます。

また、「考える道徳」「議論する道徳」という考え方も踏まえ、ペア（グループ）で対話活動を行うことで、多様な見方・考え方・感じ方を出させたいものです。

この授業では、マグネットシートに記入させ、意見を交流させるようにしました。